

## 目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	35	防火・避難訓練を年2回行っているが、火災に限った訓練が多く、その他の災害に対する訓練も望まれる。また、夜間を想定した通報・避難訓練の実施が必要である。	年2回の避難訓練、火災避難訓練に夜間想定避難訓練を取り入れるようにする。火災以外の災害に対する避難訓練も取り入れる。	火災避難・通報訓練の際に夜間想定訓練を取り入れ、火災以外の地震・風水害などの災害に対する避難・想定訓練も取り入れる。	12ヶ月
2	26	介護計画書に添って記録を行うように努めているが、ご家族の希望や意向、医療関係者の助言等も記録に残し、介護に反映する必要がある。	ご家族の希望や意向、主治医や医療関係者の助言等を日々の記録に残し、介護計画に反映する。	日々の記録に、ご家族の希望や意向、主治医や医療関係者の助言等も記録に残し、チーム内での周知を図り、介護に反映できるよう努める。	6ヶ月
3	6	身体拘束防止の研修を年1回と職員会議時に随時しているが、定期的に研修を行い職員全員に理解を深め周知し身体拘束をしないようなケアが必要である。	職員全員に理解を深め周知し身体拘束をしないよう取り組む。	定期的に研修を行い、職員全員に理解を深め、周知し、身体拘束を行わないように取り組む。	12ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注)項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。